

上智大学キリスト教文化研究所活動報告

(2011年度 報告)

1. 講演会活動

①第39回連続講演会

テーマ：「食と宗教」——宗教は食をどう扱ってきたか？——

日時：2011年6月18日、19日

場所：上智大学中央図書館921会議室

・個別テーマ・講師

6月18日（土）

「ヒンドゥー文化における『食とタブー』」

シリル・ヴェリアト（上智大学教授）

「日本人にとっての食と宗教」

賀陽 濟（田無神社宮司・精神科医）

「治癒における『食』の役割」

若松 英輔（株式会社シナジーカンパニーージャパン代表取締役・批評家）

6月19日（日）

「貧しさの中の感謝：ユダヤ教の食と祭礼」

市川 裕（東京大学教授）

「道元禅師の「食」——『典座教訓』・『赴粥飯法』の世界——」

古山 健一（曹洞宗総合研究センター専任研究員・駒澤大学非常勤講師）

②2011年度聖書講座

テーマ：「終末を生きる」

日時：2010年11月20日、21日

場所：上智大学中央図書館921会議室

・個別テーマ・講師

11月19日（土）

「現代人の終末不安へのキリスト教終末論の答え」

光延 一郎（上智大学教授）

「預言者が語る終わりの日」

雨宮 慧（上智大学教授）

「新約諸文書の終末倫理—多様な終末観と倫理」

小林 稔（上智大学教授）

11月20日(日)

「ユダヤ教におけるメシア理念の理解」

ホアン ・ アイダル（上智大学准教授）

「キリシタン史上にあらわれた『魂の不滅』論と Novissimus

（四終：死・終末・天国・地獄）についての民衆の理解」

川村 信三（上智大学教授）

2. 出版活動

聖書論文集：『さまざまに読むヨハネ福音書』

2011年11月14日出版社リトン発行

紀 要：「上智大学キリスト教文化研究所紀要 30号」

2012年3月25日発行